

川野市長よりメッセージ

津久見高校野球部の皆さん、2020年大分県高等学校野球大会優勝おめでとうございます。

今年甲子園でプレーする機会を絶たれてしまった選手の皆さんにとって、様々な思いが交錯した日々だったとは思いますが、そういったことを乗り越えて得た栄冠は、何ものにも代えがたい価値あるものだと思います。

また保護者の皆様、学校関係者の皆様、新型コロナウイルス感染防止という誰もが経験したことの無い状況下で、選手の活動を支えてこられたご尽力、本当にお疲れさまでした。

皆様の支援があってこそその結果であったと思います。

最後に、残された後輩の皆さん、今回の3年生の姿を胸に焼き付け、その思いとともに、秋に控える大会での吉報を、私を含め市民の皆様が待っています。

今回の結果により、より一層のプレッシャーが掛るかもしれませんが、そのプレッシャーを乗り越えてこそ、見えてくるものがあると信じています。

監督・コーチ・関係者一丸となって頑張ってください。

誠におめでとうございます。

祝優勝！津久見高校

2020大分県高等学校野球大会

津久見

戦績

- 一回戦
7月16日 **5-4** 藤蔭高校
- 二回戦
21日 **6-1** 大分西高校
- 三回戦
26日 **4-3** 中津南高校
- 準々決勝
28日 **8-6** 日本文理大付高校
- 準決勝
29日 **2-1** 柳ヶ浦高校
- 決勝
31日 **2-1** 大分舞鶴高校



結果を出すためには最高の過程がなくてはなりません。

津久見高校硬式野球部

藤丸監督一問一答

優勝おめでとうございます。

藤丸 ありがとうございます。

率直に、優勝の瞬間はどういう気持ちでしたか。

藤丸 ホットしたと同時に、追い求めていたものが過去に変わった瞬間でもあり緊張感が走りました。

周囲の反応はどうでしたか。

藤丸 毎試合、お祝いのメールやラインを同級生や野球仲間をはじめ沢山の方々から届けてくれました。

決勝戦の後は、700件以上のお祝いメッセージをいただきました。本当に皆様の支えを感じました。

ご家族にはどんな報告をされましたか。

藤丸 家族の理解と支えがなくてはこれ大役は務まりませんので、優勝という形で恩返しできて本当に良かったです。

毎試合娘たちがDVDにタビングしてくれました。少年野球を一緒にしてきた次女にはスクイズを出すタイミングがばれていました。

今大会に向けて、日々の練習の中で意識していたことは。

藤丸 大会を勝ち抜くためには逆転勝ちができる忍耐力がないと難しいと思っています。

相手の攻撃を最少失点に抑えて1点を確実に取る野球を徹底して練習しました。

就任時は緊急事態宣言により、練習することすら難しい状況でした。工夫した取り組み等あれば教えてください。

藤丸 4月の就任後、全員とミーティングを行い現チームの長所と短所を出し合ってもらい、それらをまとめてチームの目標設定してもらいました。すぐに学校が休校となりましたが、全選手とグループラインで連絡を取り合い、目標達成に向けたトレーニングの方法や考え方を伝え、また、質問をいただきながらコミュニケーションをとりました。この期間を有効に使えたことがチームをまとめてくれたものと感じています。

大会を勝ち抜くために大切にされたものと感じています。

藤丸 選手のコンディションと試合のテーマです。

試合のテーマは毎回変えていました。勝ち上がっていくにつれてみな当然結果を意識しはじめますので、足元を見直すことには意識していました。

緊張感のある試合が続きました。ピンチの時に監督を後押ししてくれたものは。

藤丸 選手との信頼関係が支えてくれました。

理想の勝ち方を想像して厳しい練習を続けてきました。その厳しい練習に耐えてきた選手達が、苦しいときでも仲間を信じ、監督を信じプレーする選手が私を支えてくれました。

監督を信じプレーする選手が私を支えてくれました。

藤丸 練習でも同じことを言っていますが、絶対に結果を見るなどアドバイスします。試合なので結果が絶対なのですが、結果を出すためには最高の過程がなくてはなりません。

プレーする選手の姿が私を支えてくれました。

練習の準備、片付け、移動など普段の行動において人任せにしない考え方が身につけてきたと思います。また、野球に対する考え方も大きく変わってきたと思います。難しい野球は私も嫌いなので、理論と感覚の違いやとらえ方が選手たちも分かっていたのだと思います。

選手との距離感については、どう考えられていますか。

藤丸 人間関係で大切なことは困ったときにどういう関係でいられるかだと思っていますので、練習や試合以外では常に選手とフレンドリーにやっています。そうすることで選手も言い辛いケガなどの相談もしやすい環境を作っています。

津久見市に住む人々にとって野球とはどんな存在だと思いますか。

藤丸 この度の優勝で町が盛り上がったのは確かな実感としてあります。これほどまでに皆さんが応援してくれる町は他にないと思います。これも昭和の黄金時代を築いてくれた小嶋監督をはじめ諸先輩方のおかげだと思います。私としてはそんな野球の町に育てていただいたので野球で恩返しをしたいと思っています。

今後の目標、展望を教えてください。

藤丸 野球道を通じて社会をリードできる人を育てていきたいと思っています。そのためにも、自分自身も気を引き締めて取り組む所存です。そこに結果はついてくると信じています。

市民のみなさまに一言。

藤丸 新型コロナウイルスで世の中が緊張状態にある中、今回の大会への出場はもとより、津久見高校硬式野球部の活動にご理解ご支援をいただき、子どもたちが大好きな野球ができる環境を与えてくださいます市民の皆様は心から感謝を申し上げます。

ありがとうございます。



藤丸 崇 (ふじまる たかし)
S50.10.3生まれ。
亜細亜大学硬式野球部を経て津久見市役所へ入庁。二巡目大分国体等に選手として活躍し、津久見市役所野球部監督や青江少年野球部監督、津久見高校硬式野球部外務コーチを歴任。今年4月に津久見高校硬式野球部監督に就任。

果を出すためには最高の過程がなくてはなりません。当たり前のことを当たり前にやっていこうといつも言っています。「凡事徹底」が私の信念です。

チームの強さの元は。

藤丸 素晴らしい選手が揃っていることは勿論のこと、学校部活顧問と保護者と選手が三位一体となっていることだと思います。高校野球に限らずチーム組織は、「内側がまとまってい

て外側に目が向いている組織が強いのだと思います。

就任当時と大会までの期間で大きく変わったこと、成長したことは。

藤丸 選手の行動が変わりました。

練習の準備、片付け、移動など普段の行動において人任せにしない考え方が身につけてきたと思います。また、野球に対する考え方も大きく変わってきたと思います。難しい野球は私も嫌いなので、理論と感覚の違いやとらえ方が選手たちも分かっていたのだと思います。

選手との距離感については、どう考えられていますか。

藤丸 人間関係で大切なことは困ったときにどういう関係でいられるかだと思っていますので、練習や試合以外では常に選手とフレンドリーにやっています。そうすることで選手も言い辛いケガなどの相談もしやすい環境を作っています。

津久見市に住む人々にとって野球とはどんな存在だと思いますか。

藤丸 この度の優勝で町が盛り上がったのは確かな実感としてあります。これほどまでに皆さんが応援してくれる町は他にないと思います。これも昭和の黄金時代を築いてくれた小嶋監督をはじめ諸先輩方のおかげだと思います。私としてはそんな野球の町に育てていただいたので野球で恩返しをしたいと思っています。

今後の目標、展望を教えてください。

藤丸 野球道を通じて社会をリードできる人を育てていきたいと思っています。そのためにも、自分自身も気を引き締めて取り組む所存です。そこに結果はついてくると信じています。

市民のみなさまに一言。

藤丸 新型コロナウイルスで世の中が緊張状態にある中、今回の大会への出場はもとより、津久見高校硬式野球部の活動にご理解ご支援をいただき、子どもたちが大好きな野球ができる環境を与えてくださいます市民の皆様は心から感謝を申し上げます。

ありがとうございます。